

第104回

全国高校野球

青森大会

第7日

全国高校野球選手権青森大会は第7日の15日、青森市のグインベイスボールスタジアム、弘前市のはるか夢球場、八戸市長柄公園の3球場で3回戦8試合を行い、ベスト8が出そろった。八工大二は青森南を5-1で破り、夏の大会では初の8強入りを果たした。青森北は終盤の追い上げで弘前南に競り勝ち、2009年以來の進出。八工大一は野辺地西を延長戦の末、破ったこのほか、

8強出そろった

昨夏王者の弘前学院聖愛、春の県大会を制した青森山田、八学光星、東奥義塾、弘前工が連々決勝に進んだ。第8日の17日は、はるか夢球場で準々決勝2試合を行う。（本紙取材班）

野辺西 7回反撃及ばず

【評】八工大一が乱打戦を制した。延長10回、先頭の長谷地が中越え三塁打で出塁すると、三塁は四球を運び無死一、三塁。田中が三塁前にたたきつける間に長谷地が生還し、サヨナラ勝を決めた。三回途中からロングリフした主戦野辺西は七回、1死一、二塁から天間の2点適時三塁打などで同点に追いつく意地を見たが反撃もここまで。2番手高藤が好救援したものの、最後に力尽きた。

◆延長10回に三塁打で出塁した八工大一の長谷地、最後に満塁にきて満塁だった。

【評】八工大一が乱打戦を制した。延長10回、先頭の長谷地が中越え三塁打で出塁すると、三塁は四球を運び無死一、三塁。田中が三塁前にたたきつける間に長谷地が生還し、サヨナラ勝を決めた。三回途中からロングリフした主戦野辺西は七回、1死一、二塁から天間の2点適時三塁打などで同点に追いつく意地を見たが反撃もここまで。2番手高藤が好救援したものの、最後に力尽きた。

◆延長10回に三塁打で出塁した八工大一の長谷地、最後に満塁にきて満塁だった。

光星・中澤勝ち越し弾

弘東 打線援護なく

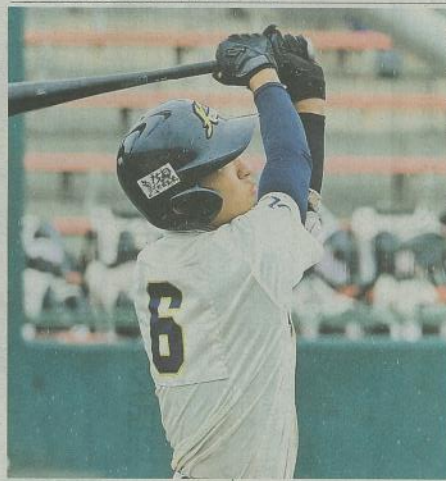
▽3回戦（八戸市長柄公園）

弘前東	0001	10010	0000	×	21
八学光星	0001	10010	0000	×	21

（弘）中田・藤本
（八）吉田・藤野・文元
▽本塁打 中澤（八）

【評】八学光星は同点料投した主戦中田を援護できなかった。中間にソロ本塁打を打ち勝ち越しに成功した。四打を放った八学光星の中間から登板した藤野は被安打2、7奪三振と力投したことで、ヒートを行き、無失策の堅守にも支えられ、相手の反撃を許さなかった。

弘前東は三回、須藤の振ったら思ったよりも飛球が捕まらず、光星打線をボール球を振らないこと



球に全力を集中し、中田（3年）万全のコースを投げて、今日も打線も敗れた弘前東の光星打線を抑えられる

【弘前東】八学光星6回裏、八学光星1死、中澤が右中間に本塁打を放ち2-1と勝ち越し八戸市長柄公園